

## 第四回 CALNA 運営委員会議事録

日時：平成 31 年 3 月 13 日（水）15:00～16:00

会場：医系研究棟 1 号館 10 階 脳神経外科医局カンファレンスルーム

出席者（敬称略）

○運営委員：若林俊彦（運営委員長・脳神経外科学）、石黒直樹（病院長・整形外科外科学）、曾根三千彦（耳鼻咽喉科学）、亀井譲（形成外科学）、荒川宜親（分子病原細菌学）

○実務委員：荒木芳生（脳神経外科学・実務委員長）、棚橋邦明（脳神経外科学）、宇田憲司（脳神経外科学）、高成啓介（代理・神戸未来 形成外科学）、宮田一志（腫瘍外科学）、寺澤幸枝（心臓外科学）、中村彰太（呼吸器外科学）、柴田康之（麻酔科学）、宮田卓樹（細胞生物学）、高木佐知子（献体事務室）、山口誠（経営企画係）、磯谷聡宏（経営企画係）、酒井彩乃（経営企画係）、佐藤菜津子（クリニカルシミュレーションセンター）

欠席者

○運営委員：平田仁（手の外科学）、木山博資（機能組織学）、柳野正人（腫瘍外科学）、小寺泰弘（消化器外科学）、碓氷章彦（心臓外科学）、横井香平（呼吸器外科学）、西脇公俊（麻酔・蘇生医学）、藤原道隆（消化器外科学）

○実務委員：今釜史郎（整形外科）、山本美知郎（手の外科学）、藤本保志（耳鼻咽喉科学）、都築秀典（耳鼻咽喉科学）、藤本豊士（分子細胞学）、長野久美子（総務係）

実務委員長荒木より挨拶。

### 〈議題〉

#### 1. CALNA 利用実績（脳神経外科・宇田）

これまで延べ 164 名の医師がセミナーに参加いただいた。平成 31 年度の予定として既に整形外科、脳外科脊椎セミナーが企画されている。

#### 2. 御遺体の使用状況（脳神経外科・宇田）

不老会会員様のおかげで今のところ必要数の御遺体を確保できている。引き続

きセミナー開催いただきたい。また、2019年3月の火葬参加をお願いしたい。

### 3. CALNA 利用時の問題点（脳神経外科・荒木）

細胞生物学・宮田：特に問題なし。セミナー後、解剖室の現状復帰をしっかりといただいている。

### 4. 会計報告（脳神経外科・荒木）

- ・ 厚労省の実践的手術手技向上研修事業委託費 7,108,000 円。使用金額 7,107,480 円、残高 520 円。用途はセミナー開催のための機材レンタル料・購入費、消耗品購入費。御遺体固定用の注入ポンプ一式。→ これにより時間短縮して御遺体の固定ができるようになった。
- ・ 病院予算 5,000,000 円。使用金額 2,706,822 円、残高 2,293,178 円。用途は主に医療用炭酸ガス、吸引器、御遺体管理費用等。
- ・ 教育奨励費 480,000 円。使用金額 479,967 円、残高 33 円。用途は腹部内視鏡機器購入費用と、消耗品。

→ いずれも異議なし。

### ◎来年度予算について

- ・ 病院予算 500 万円。継続して配分いただける予定。ただし今年度残額の繰越はなし。
- ・ 厚労省委託費 710 万円は、再申請予定。ただし金額は変更される可能性あり。
- ・ 厚労省設備整備費に再度申請予定（今年度は不採択）

### 5. 解剖室の電気系統増設の提案（脳神経外科・宇田）

解剖室での手術機器使用は想定されておらず、電力不足が問題。大解剖室に 15A のコンセントを 15ヶ所に増設で 7体のトレーニングが可能。（工賃 950,400 円）小解剖室に 15A のコンセント 6ヶ所に増設で工賃 213,840 円。実習がない間に短期間で工事は可能で、この3月中にも可能。

病院長・石黒：今年度中に行い、病院予算の残額を使用して良い。

6. 平成 31 年度文科省予算の獲得に向けて（脳神経外科・荒木）  
3000 万円×2 施設へ配分予定となっている。近隣の岐阜大学・浜松医科大学、三重大学へ、「東海国立大学病院機構 CST ネットワーク事業（仮）」の事業提案を行った後、文科省訪問し事前相談した。

→ 異議なし。

病院長・石黒：本学が率先してネットワークを主導してほしい。

7. CALNA ホームページ開設と寄付金募集について（脳神経外科・棚橋）

CALNA ホームページを作成し、ガイドラインに従い組織紹介、関連規定、利用実績、運営委員会議事録等を公開している。さらに、将来セミナー参加者の全国公募をする際の広報に利用できるよう準備している。CALNA 利用法の案内・申請フォームも作成したため利用してほしい。また、今後の運営資金獲得に向け、ホームページ上で寄付金募集を行ってよいか。

経営企画係・山口：寄付金募集法として通常の寄付金と、事業者を介したクラウドファンディングがある。

病院長・石黒：ホームページで組織の透明性を示すのは良いことである。クラウドファンディングは、まだ CALNA の社会的インパクトが小さいので厳しい。ホームページ上で寄付金募集するのは良い。我々の努力を示していくことにもなる。

腫瘍外科学・宮田：ホームページから誰でも CALNA 利用申請できてしまうのか？ → 脳神経外科・宇田：基本的に CALNA 実務委員から申請してもらいます。

8. その他（脳神経外科・荒木）

脳神経外科から、CALNA でシミュレーション後に手術を行った症例報告が学術論文としてアクセプトされた。ホームページ上で紹介してよいか。

病院長・石黒：アカデミアとしてぜひ公表すべき。

細胞生物学・宮田：学生さんのセミナー見学は可能か？ → 脳神経外科・荒木：当科は臨床実習で行っているが、見学のみとしている。

細胞生物学・宮田：医師が一生懸命解剖を行っている姿を学生に見せたい。

脳神経外科・荒木：セミナーに参加した関連施設医師の感想はどうか？ → 腫瘍外科・宮田：大変貴重でありがたい機会。脱血処理により生体に比べて色調が違う。 → 細胞生物学・宮田：色調や出血を再現する固定方法もある。

腫瘍外科・宮田：腹部は固定状態により質に差は出る。コンスタントにトレーニングに適した固定ができると良い。 → 脳神経外科・宇田：今後の検討課題としたい。

病院長・石黒：献体者の感染症検査も今後要検討。感染有無を知ったうえでトレーニングしたほうがよい。